

6年 2

⑥ ガラパゴス諸島は、イ
 (1) ()と(2) ()との密接な関係をわた
 したちに教えてくれる、貴重な自然の宝庫である。

生物 かん境

(2) ⑥ 段落には、筆者の主張が書かれています。イ
 に入る言葉を本文中からぬき出しなさい。ただし、①には二字、②には三字で書く
 こと。

正答率 13.1%
 無解答率 3.9%

5年 2

(3) ③ テレビと付き合う上で、筆者がいちばん伝えなかったことをまとめます。次の
 【条件】に合わせて書きなさい。

○ 「映像」という言葉を用いて書くこと。
 ○ 三十五字以上、五十字以内で書くこと。(句読点をふくむ。)

わたしたちは、伝えられる映像の外にある部分があることを
 わすれずに、テレビと付き合う必要がある。

正答率 33.2%
 無解答率 10.2%

4年 2

ふだん使っている道具が、
 ① ちがった立場
 の人にとっても
 便利
 ② なのかをよく考えていくことが大事である。

正答率 16.6%
 無解答率 9.0%

(3) この文章で、筆者が言いたいことを次のようにまとめます。①、②に
 入る言葉を本文中からぬき出して書きなさい。

課題

各学年とも、説明的な文
 章の読解において、目的
 に応じて文章の内容を押
 さえ、要約したり要旨をと
 らえたりすること。

課題克服のため、
 下の問題等にも
 取り組んでください。

国語マスター問題集
 5年⑩ 6年⑮・⑯

チャレンジ確認シート
 H27 B 2 H26 B 2

問題から、各学年にお
 いて付けるべき力とは
 何かが見えてきます。

課題を克服するには

低学年では

- ★ **文意識をもたせる。**「この文は、何について書かれた文ですか。」「この文の主語・述語は
 何ですか。」というようなことは、低学年から取り組んでいきましょう。
- ★ **ものごとの順序を読み取らせる。**順序(時・順番)を表す言葉を押さえましょう。
 「いつ」「じかん」「じゅんばん」等に目を向けられるようにしましょう。
- ★ **文章から大事な文や言葉を見つけさせる。**「〇〇について書いてある文を見つけ、線を引き
 しましょう。」と指示することや、ノート、ワークシート等にかかせることも効果的です。

「問いと答えの
 文」「はじめ・中・
 おわり」を意識さ
 せましょう!

中学年では

- ★ **段落どうしのまとめ、つながりをとらえさせる。**「本文を、『はじめ・中・おわり』の
 3つに分けましょう。」「『はじめ・中・おわり』にはそれぞれどんなことが書かれてい
 ますか。」「文章全体は、どのような組み立てになっていますか。」などと児童に問うよ
 うにしましょう。
- ★ **「問い」と「答え」の関係をとらえさせる。**「問いに対する答えは、どこに(いくつ、ど
 のように)書かれていますか。」と問うことで、とらえさせていきましょう。
- ★ **文章の中心となる文、内容をとらえさせる。**「段落ごとに、小見出しを付けましょう。
 「筆者は、何をどのように説明していましたか。」などと考えさせることが大切です。
- ★ **目的に応じた形で文章を要約させる。**文章の構成を生かしたり、自分が興味をもった部分
 に着目させたりするなど、それぞれの目的に合わせて要約する経験を積みませましょう。

筆者の意見がど
 こに、どのように
 書かれているか
 読みとることがで
 きるようにしま
 しょう!

高学年では

- ★ **文章構成・筆者の考えをとらえさせる。**文章を3つに分け、事例(事実)の文、筆者の考え
 の文、まとめの文を読み取らせ、大まかな内容をとらえさせましょう。また、事例と筆者
 の考えがどのように結び付いているかを整理することも必要です。
- ★ **要旨をまとめさせる。**「筆者が最も言いたいことは、どの段落に書かれていますか。」
 その段落以外にも、どのような事例や理由を述べているか、どのように考えを進め
 ているかから考えさせましょう。
- ★ **筆者の表現の工夫をとらえさせる。**文章構成の意図や、資料としてグラフや表を用いた意
 図や効果を読み取り理解できるようにしましょう。

筆者の考えや表
 現の工夫・効果
 について、自分
 の考えをまとめ
 る力を付けるよ
 うにしましょう!

誤答から見えるポイント！

第4学年 ④ 文学的な文章の問題

正答率 33.2%
無解答率 6.5%

(3) 次の1～4は、このお話の出来事をあらわしています。じっさいにひろみが体験した順に、番号をならべかえて書きなさい。

本文に書かれている順番が出来事が起こった順番と考えている誤答が多くありました。

登場人物に関する描写をもとに、出来事の前後関係を読み取らせていきましょう。

第5学年 ③ 書く問題

正答率 27.8%
無解答率 7.9%

(2) 「2 課題」について書きます。次の【条件】に合わせて「イ」の内容を書きなさい。

グラフなどの資料を読み取れていないこと、読み取れていても、そこから課題を見いだせていないことが誤答から分かりました。

ポイント 他教科で学習した、図表やグラフの読み方を生かし、読み取ったことを適切な言葉を用いて記述できるような指導が必要です。

チャレンジ
確認シート
H28 B 2

第5学年 ② 説明的な文章の問題

正答率 24.0%
無解答率 13.7%

(1) 【資料】のメディアと付き合っている時間のグラフから読み取れることが書いてある一文はどれですか。その文の初めと終わりの五字を書きなさい。(句読点をふくむ。)

一文ではなく、一つの段落を選んでいる児童や、部分を選んでいる児童が目立ちました。

ポイント 図表と本文を対応させて読み取らせるとともに、一文で答える等、問題に対する解答の仕方を指導することが大切です。

国語マスター
問題集
5年⑦・⑩(1)

第6学年 ④ 文学的な文章の問題

正答率 46.6%
無解答率 10.3%

(3) 「あの鳥のおくり物だ。」とありますが、この文の前と後で、少年の気持ちが、どのように変化したのかをまとめます。あとの【条件】に合うように書きなさい。

登場人物の心情の変容について、変化する前の心情をとらえることができていない誤答が多くありました。

ポイント 作品全体を大きくとらえて読んでいく中で、はじめと終わりの登場人物の心情について比較させて変容をとらえることも大切です。「〇〇だったのが、△△のため、□□になった。」等。

国語マスター
問題集
6年⑫・⑬

国語科の授業改善にむけて

作品の中味の指導に偏らず、作品の書かれ方について指導する。

「すがたをかえる大豆」を学習する際、大豆博士になるくらい、大豆のことについて深く読み取らせたり、調べて考えさせたりしていませんか。また「ちいちゃんのかげおくり」の学習では、戦争の悲惨さを理解させようと、事前に戦争学習に力を入れるなどしていませんか。そのことによって、該当教材について深い理解ができて、他教材や実生活等にその力を転用させることは難しいかもしれません。その作品が、何についてどのような書かれ方をしているかについて指導していくことは、学んだことを他の作品や国語科以外の教科等に転用しやすいものとなります。

読み取るための方法について指導する。

児童に「何についてどのように書かれているか」を指導していくためには、やみくもに読ませるのではなく、読み取り方を身に付けさせた上で読ませていくことも大切です。例えば、要旨をまとめる際、「筆者がいちばん伝えたかったことをまとめよう」と指示するだけでは、なかなか書くことができません。要旨をまとめるために、どのような段階があるのか、児童に示していく必要があります。読み取るための方法について指導することが、学び方を指導することになります。

単元終了時の児童の姿を、前もってイメージしておく。

単元終了時の児童の姿をイメージすることは、付けたい力を明確にすることにつながります。付けたい力を児童に確実に習得させるには、イメージした姿に到達させるために、何をどのような展開で学習していくべきか、単元終了時の児童の姿から遡って単元構想することが重要です。加えて、一つの単元の学習活動が、児童にとって必然性のある課題解決の過程となってきます。指導者にとっても、目的がぶれることなく、授業を展開していくことができます。

主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れる。

次期学指導要領のポイントとして、アクティブ・ラーニングによる授業改善が重要であることが示されています。学習課題が、児童にとって価値のある課題になっているか、内容を検討していく必要があります。また、児童同士が学び合うことで支え合える関係を築いていけるような雰囲気づくりも大切です。教材等とおして、言葉の意味や使い方など新たな発見をすることで、児童がもっと学びたいという意欲を高めたり、深い学びといざなう仕掛けも大切です。このような視点を日々の授業に取り入れていきましょう。